

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【公開番号】特開2011-36254(P2011-36254A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-200720(P2010-200720)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	39/00	Z N A H
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 P	35/00	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 P	21/02	C
G 0 1 N	33/574	D

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月5日(2011.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

MN蛋白質を異常発現する脊椎動物の前腫瘍性および/腫瘍性細胞の増殖を阻害することによって、MN蛋白質の異常発現により特徴付けられる前腫瘍性および/または腫瘍性疾患を治療するための医薬の製造におけるMN蛋白質/ポリペプチドに特異的に結合する抗体の使用であって、

前記蛋白質／ポリペプチドが、図1A - 1B（配列番号2）に示されるアミノ酸配列またはその部分、あるいは該アミノ酸配列またはその部分の変異体を含み；およびATCCにATCC番号HB 11128として寄託されているハイブリドーマVU-M75から產生されるMN75モノクローナル抗体が前記MN蛋白質に特異的に結合することを特徴とする使用。

【請求項2】

前記抗体が、モノクローナル抗体またはポリクローナル抗体であることを特徴とする請求項1記載の使用。

【請求項3】

前記モノクローナル抗体が、M75と称され、ATCCにATCC番号HB 11128として寄託されているハイブリドーマVU-M75から產生されることを特徴とする請求項2記載の使用。

【請求項4】

前記抗体が、化学療法剤もしくは毒性剤および／またはイメージング剤と結合していることを特徴とする請求項1記載の使用。

【請求項5】

前記MN蛋白質／ポリペプチドに対する特異的結合性を有するモノクローナル抗体が、組換えにより作製されたものであることを特徴とする請求項1記載の使用。

【請求項6】

前記毒性剤が、リシンAであることを特徴とする請求項4記載の使用。

【請求項7】

前記抗体が生物学的に活性な組換え抗体、または生物学的に活性な組換え抗体断片である請求項5記載の使用。

【請求項8】

前記抗体または抗体断片が、一価抗体、MN蛋白質および別の抗原に特異的に結合できるハイブリッド抗体、キメラ抗体、Fab、Fab'、F(ab')₂、および超可変領域を含む可変重鎖および可変軽鎖領域からなる群より選択されることを特徴とする請求項7記載の使用。

【請求項9】

前記抗体が、組換えにより製造されたMN蛋白質、MN融合蛋白質またはMNポリペプチドに対して調製された抗体または抗体断片である請求項1記載の使用。

【請求項10】

前記抗体または抗体断片が、MN特異的抗体のV_Hおよび／またはV_L領域から組換えにより製造されたものである請求項8記載の使用。

【請求項11】

前記抗体または抗体断片がヒト化されたものである請求項7記載の使用。

【請求項12】

前記抗体または抗体断片が、PCR増幅されたV遺伝子によって調製されたものである請求項8記載の使用。